

夏学期終了を目前に、研究室の活動も山場を迎えています。今号では、プロジェクトや演習など今学期の集大成の記事を中心にお届けします。

足助PJ、地元提案順調な滑り出し

- 中間発表無事終了 -

M2 鎌形敬人

今年4月から始まった足助プロジェクト、さっそくその中間発表が行われ、行政や協議会の方々を中心に30名程の方々が集まってくださいました。



たった2回の現地調査の中で調査しきれていない点は多々あり、また資料やPPTが一部完成しないという至らない点もありながら、地元の方々には建設的で貴重なご意見を頂き、また、翌日に行われたまちづくり交付金に関する会議では、我々の提案からいくつかを事業予定に組み入れて頂き、今後の活動への励みとなるものでした。同じく翌日には、貴重な2軒の空き家に入れて頂き、図面おこしなどの調査を行いました。M2はこれでひと段落しサポートに回る予定ですが、足助プロジェクト、そして確実に変わりつつある足助のまちに注目です!



上段: 中間発表の様子 下段左: 足助メンバー全員集合!
下段中: 先生と一緒に図面おこし 下段右: 空き家調査終了!

灼熱の現地調査 一輛PJー

M1 六田 康裕

7月11日~13日の日程で、完成したばかりの靱雑誌2008を携え、映画「崖の上のポニョ」の劇場公開を控えて盛り上がる福山市靱町に行ってきました。

今回M1は初めての訪靱ということで、炎天下の中先輩方に町を案内してもらいつつ、駐車場調査と空家再生店舗の経営状態に関するヒアリング、食べ物や祭りなどの非空間文化に関するヒアリングを行いました。

また、12日の夜には日本三大火祭りの一つに数えられる沼名前神社でのお手火神事を見学し、大きな松明を担いで歩く、海男の勇壮さに心打られました。

まちづくりの厳しさを実感するアクシデントもいくつかありましたが、めげずに頑張っていきます。



▲お手火神事の様子。



▲靱のまちにたそがれるM1 西川。

7月17日木曜、都市デザイン研究室担当の学部三年生演習課題、「住宅地設計」の最終ジュリーが行われました。講評には、西村先生、遠藤先生、前田先生、窪田先生、野原助教、中島助教というデザ研教授陣フルメンバーに加え、環境デザイン研究室の石川先生にも参加して頂き、白熱したジュリーとなりました。

昨年から引き続き、図面は手書きでという指定だったので、今年の三年生も膨大な量の図面を書いており、その作業量には感心する一方、プレゼンテーションを意識した表現まで手が回らなかった人が多かったのが少し残念でした。

五時間にわたる長丁場、最後まで丁寧に三年生の成果物を審査して下さいました先生方、そして最後まで諦めずにやりきった三年生、本当にお疲れ様でした。

そしてM1から参加した二人、お疲れ様！



留学壮行会

—2名がロンドン、パリへ出発—

M1 土信田 浩之

7月8日、同月に留学をひかえた柴山くん(M1)、江口さん(D2)の壮行会が行われました。場所は本郷キャンパスから程近い居酒屋。空間研からも4名が出席し、総勢約30名で2人の門出を祝いました。



野原助教の激励の言葉に始まり、思い出話や留学生活に関する質問で、会は賑やかに進んで行きました。途中、花束とプレゼントの贈呈が行われ、それぞれの抱負が語られました。さらに、鞆プロジェクトからも江口さんへプレゼントが贈られました。プレゼントに焼酎をもらった江口さんの感謝の言葉に会場はさらに盛り上がりました。これから2人には、世界ヘデザ研の力を見せつけてきてほしいと思います。

都市デザイン研究室 8月の予定

- 8月4-8日 田村プロジェクト現地調査(4日、UDCTオープン)
- 8月8日 佐原プロジェクト実験店舗開店
- 8月22-23日 佐原プロジェクトワークショップ開催
- 8月4週目 高山プロジェクト現地調査

7月18,24日に行われた研究室会議では、M1・1名、M2・9名、D2・2名の研究計画発表が行われました。題目は以下の通りです。

- M1 ジャック・ファリス:「市・区民農園に関する研究」
- M2 蛸灰谷愛:「女性・生活者の視点を取り入れたまちづくり(仮)」
- M2 鎌形敬人:「大都市における建築物の空地のあり方を誘導する方策に関する研究」
- M2 北村修一:「瀬戸内海を船で旅行できるようにするためのシステム構築の研究」
- M2 鈴木惇也:「『住宅性能チェック』における保険業者の活用」
- M2 大道亮:「都市計画道路による街並みの崩れとその回復方法に関する研究(仮)」
- M2 パンノイ・ナッタポン:「歴史的町並み観光活動設計における住民の関わり方(仮)に冠する研究」
- M2 平岡惟:「まちづくりの情報提供ツールとしてのまちづくりガイドブックについて」
- M2 矢原有理:「動態的地区保全手法に関する研究—新宿区神楽坂地区を対象として—(仮)」
- M2 山田渚:「水上アクティビティ活性化の観点から考えた都市内水域・水辺空間の現状と可能性に関する研究」
- D2 江口久美:「フランスのPLUによる都市の保全的刷新手法における中間団体の活動に関する研究」
- D2 ティアムスーン・シリスリサク:「The notion of historic urban landscape」

デザイン研トリオ、演奏会

D3 宋 珍和

江口さんと柴山さんの盛大な壮行会があった次の日の朝にも、江口さん、永瀬さん、そして増田さんは前日と同じような爽やかな姿で第2食堂の3階にある練習室での各々の楽器の前で演奏に夢中になっていました。



永瀬さん(ピアノ)は優美な(そして長い)指で、江口さん(チェロ)は背を真っ直ぐ伸ばした美しい姿勢で、増田さん(ヴァイオリン)はシックで格好良い表情でとても上手な腕前を見せてくれました。この日のアンサンブルは「白鳥」でしたが、これからもっと色々な合奏曲を練習するつもりだそうです。江口さんの出発までは毎週水曜の午前中に練習するそうですので、皆さんもお見逃しなく！



編集後記

text_yahara

早くも夏学期が終了間近。プロジェクト・研究発表等でそれぞれが充実していたように感じました。最近、私の周囲ではワークショップや富士登山、海外旅行など、夏の計画が飛び交っています。一回り大きくなって帰ってくる研究室メンバーの報告を今後マガジンでも掲載予定ですのでお楽しみに。ご意見・ご感想は、magazine@ud.t.u-tokyo.ac.jp、または直接編集員までどうぞ。